

# 5月の衛研検査情報

～トピックス～

## A群溶血性レンサ球菌のT型別について（病原体サーベイランスのまとめ）

当所では、病原体サーベイランス事業として、小児科定点から送付された咽頭炎症状患者の咽頭ぬぐい液からA群溶血性レンサ球菌を分離培養し、同定された株について、その疫学的指標であるT型別を行っています。今回は2013年1月から12月までの1年間に分離されたA群溶血性レンサ球菌のT型別結果を報告します。

**主な結果** 2013年に受付けた52検体から分離された株は計42株で、T4型、T6型、T2型の順で多く見られました。2010年～2013年では、T4型、T6型が増加し、T1型は減少傾向でした。

## 平成25年度 医動物・食品中異物検査のまとめ

医動物担当では、人の健康を害したり、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。その中の一つとして、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者等の依頼を受けて、昆虫類を中心に食品へ混入した異物の検査を行っています。今回は、同定結果の詳細を報告します。

**主な結果** 平成25年度の食品中異物検査実績は9件で、すべて昆虫類でした。その内訳は、チョウ目5件、ゴキブリ目2件、コウチュウ目1件、ハエ目1件でした。

## 平成25年度 食品等の苦情品検査 -食品添加物担当で行った理化学検査-

平成25年度に、福祉保健センター等に届けられた食品等に関する苦情品の中で、原因究明のために食品添加物担当へ搬入された検体は36件57検体でした。

**主な結果** 苦情の内容は様々ですが、異物混入が多く見られました。本編では、理化学検査を中心に行ったうち、主な検体の検査結果を報告しています。

## 衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



**主な結果** 平成26年3月は、クロストリジウム-ディフィシル感染症、感染症発生状況、今シーズンのインフルエンザ流行情報に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は135,274件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。